

2016年（会報第24号）

山行記録



新津ハイキングクラブ

表紙と編集後記

表紙は会山行「コース 18 岩菅山」、山頂直下の急登な岩場を登っているときの写真です。



会報第 23 号、H26 年 8 月 27 日の会山行「焼額山」でヨツバヒヨドリ（花）にミツを吸いに乱舞していたアサギマダラ（蝶）の報告を受け、高原に舞うアサギマダラに興味を抱きました。春に北上、秋に南下を繰り返す「海を渡る」蝶として有名です。高原で見たアサギマダラは、南から移動してきた蝶や春に産みつけられた卵から成長して、そこで羽化した蝶（第一世代）もいるそうです。

小さい体が海を越えて移動するアサギマダラの分布は、東南アジアからヒマラヤ、中国、韓国そして日本など比較的北の方まで広い範囲に生息しています。日本では、北海道から沖縄まで全国で見られるうえ数も多いです。春から初夏にかけて沖縄や九州の島々から北上し、夏の本州の高原などで過ごし、秋には新しい世代が南を目指して移動します。移動距離は 2,000km を越える蝶も確認されています。台湾（福島～台湾 2,231km）まで移動した蝶もいるそうです。

アサギマダラはモンシロチョウのように上下にゆれながら「ひらひら」羽ばたいて飛ぶものとは違い、ほとんど羽ばたかず、風にゆられるように「フワフワ」と優雅に舞ったり、翅を「V字型」に閉じたまま、目的地まで一直線に滑空したり、また同じ場所をクルクル旋回したりと、さまざまな飛び方を見せてくれます。

浅ぎ色（わずかに緑色がかった、薄い青色）の美しい翅が陽光を浴びながら、上昇気流を利用しエネルギーを少なくして海を渡る様子は心を奪われます。私達も少ないエネルギーで登山を楽しみたいものですね。

夏

● 観察できそうな場所の例

- 北海道横津岳
- 青森県酸ヶ湯温泉
- 岩手県早池峰山
- 宮城県すみかわスキー場
- 山形県蔵王山
- 福島県グランテコススキー場
- 栃木県湯元スキー場
- 茨城県八溝山
- 群馬県丸沼高原スキー場
- 神奈川県駒ヶ岳
- 山梨県富士林道
- 長野県八千穂高原
- 静岡県安倍峠
- 愛知県茶臼山高原
- 岐阜県日和田高原

- 三重県野登山
- 新潟県ドンデン山(佐渡島)
- 新潟県笹ヶ峰
- 石川県鉢伏山
- 滋賀県びわ湖バレイ
- 奈良県和佐又山
- 大阪府金剛山
- 兵庫県氷ノ山
- 広島県広島県民の森
- 愛媛県石鎚山
- 高知県白髪山
- 長崎県国見山
- 宮崎県鱈塚山
- 鹿児島県千貫平

吸蜜するアサギマダラ
栄養補給をして脂肪を腹部に蓄え
海を渡る準備

シモツケソウ 左上	リョウブ 右上
クガイソウ 左下	キオン 右下

(1322)N/S

写真提供者：表紙 (1633)T/U、主な参考文献：Wikipedia 他

発行日：2016年(平成28年)2月6日

編集者：広報 (1322)N/S、(1448)Y/O、(1556)T/H

発行団体名：新津ハイキングクラブ <http://niitsuhc.jp>